

東海発電所の出力降下について

当社、東海発電所（炭酸ガス冷却型、電気出力 1 6 万 6 千キロワット）は、計画出力 1 4 万キロワット（1 号、2 号タービン発電機各 7 万キロワット）で運転中のところ、本日午前 9 時 1 8 分頃、1 号タービン発電機の主復水器の真空度が低下し、当該タービン発電機の出力が 6 万 2 千キロワットまで低下しました。

このため、起動用空気抽出器を起動し、真空度の回復操作を行ったところ、午前 9 時 5 8 分頃計画出力に復帰しました。

その後の調査の結果、主空気抽出器復水器冷却管からの冷却水の漏えいの可能性がある と判断したため、当該 1 号タービン発電機を解列して点検・調査を行うこととし、午後 4 時 3 0 分、電気出力を 8 万 3 千キロワットまで降下させました。詳細については、現在調査中です。

なお、本件による外部への放射能の影響はありません。

また、資源エネルギー庁による国際原子力事象評価尺度（INES）暫定評価では、評価対象外とされています。

以上

図－ 1 東海発電所主要系統概略

図－ 2 東海発電所空気抽出器関連系統図

東海発電所 主要系統概略

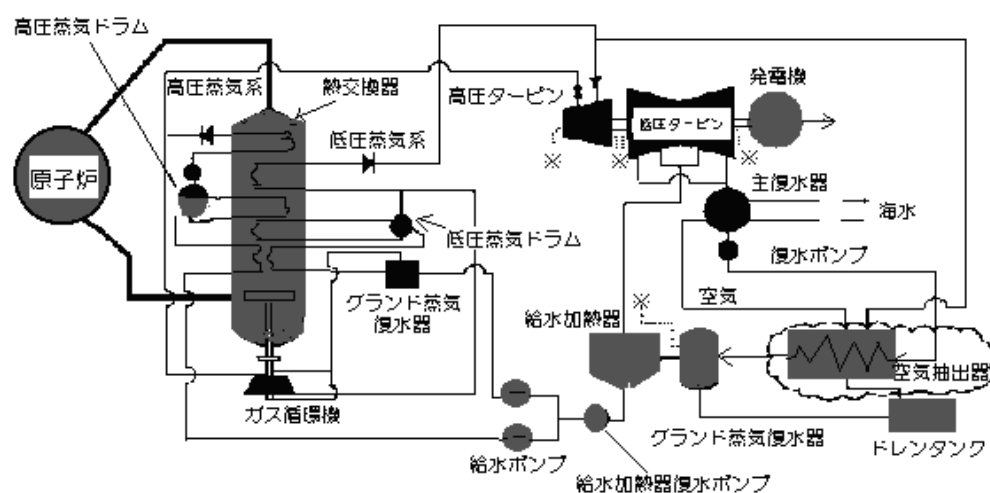


図 2

東海発電所 空気抽出器 関連系統図

